

## お知らせページ

老問研（全国老人福祉問題研究会）政策制度勉強会

### 「なぜ、介護従事者のなり手が少ないのか ～劣悪とされる労働実態と真相～」

#### －どうすれば打開できるか、財源問題をどう考えるか－

日時：1月24日（日） 13:30～16:00

会場：大正大学

（都営地下鉄三田線「西巣鴨」下車すぐ）

（都営バス 池袋発「浅草雷門」「とげぬき地蔵」「王子駅前」行 15分）

報告：桑本文幸氏（全国福祉保育労働組合）

### 第16回老問研・研究活動交流集会

日時：3月6日（土）13:00～7日（日）12:00

会場：ニューウェルシティ湯河原（旧湯河原厚生年金会館）

参加費用：1,8000円（宿泊、懇親会、参加費、資料代含む）

※ただし1日参加の場合；参加費・資料代 3500円

申し込み締切：1月31日（日）

（宿泊予約の関係があり、締切が早くなっています。何卒よろしくご協力をお願いします）

申し込み

FAX：03-5394-3057 大正大学 宮崎牧子宛

Eメール：m\_miyazaki@mail.tais.ac.jp

◎申し込み時、参加者氏名、性別、住所、連絡先（電話、メールアドレス）を必ず明記してください。

今回のテーマ

- (1) 高齢者福祉政策や制度の今後の方向性について（今年度5回実施した政策制度勉強会を踏まえて）
- (2) 介護労働問題について
- (3) 2011年に向けて介護保険制度の動向について
- (4) 老人ホーム体系と居住系施設・サービスのあり方をめぐって

### 第20回 認知症ワーキング

日時：1月30日（土）10:00～13:00

内容：政策提言について

服薬についての事例検討

会場：千代田区男女共同参画センター「ミュウ」

ミーティングルーム

（地下鉄「九段下」駅 徒歩5分）

共に介護を学びあい  
励まし合いネットワーク

〒142-0063

東京都品川区荏原1-24-23 角田アパート1F

Tel・Fax：03-3787-3117

編集責任者：藤原るか

# CLA だより

 第11号  
10/1/8

発行：共に介護を学びあい・励まし合いネットワーク



「CLA（クラ）」はラテン語で憂い、辛さ、気遣い、共感などと云った意味で、英語のキューアーやケアの語源です。



# 「南部ヘルパーのつどい」報告 1

## 午前の部 2009年11月29日(日)

於：南部労政会館



コーディネートをヘルパーがやりながら講師の先生方の意見を聞くという初めての取り組みは、時間を30分以上もオーバーして昼休みが取れない、日常の活動化してしまいましたが、みなさん流石柔軟度の高いヘルパー集団。早速、お弁当を広げ講師を囲んで話を続けていらっしゃいました。改めて紙面を借りて進行の勝手際、お詫びいたします。

機関紙では2回に分けて様子を紹介します。

参加型を目指したつどいは、参加者にYESは青カード、NOは赤カードの意思表示をして貰いました。

例えば「今週は働きすぎたと思う人〜?」「昨日は良く眠れましたかア〜?」等講師の後藤さんも、篠崎さんも参加者と一緒にカードを挙げて頂き、一体感のある楽しいスタートとなりました。(上記写真)

まず、講師紹介を兼ねてヘルパーへの思いを率直に語っていただきました。

後藤さんは 社会部の記者になりたかった学生時代、社会はバブルの絶頂期。そんな中、ボランティア活動で介護との出会いがあったとの事。「リュウマチのおばあちゃんをおじいちゃんが介護していました。老老介護ですよね。生活が苦しい中、おばあちゃんの好きな刺身を何とか食べさせようと、2〜3日に少しずつ分けて食事に出していたのを傍で見っていました。刺身の色が少しずつ変わるのわかるのですが、おばあちゃんはいつも嬉しそうにそのお刺身を食べていて……。こういった(貧困)状況をどうにかしたいと強く思った

と後藤記者の原点に介護経験があったことを紹介されました。社会部の記者になって手がけた「人間ドキュメンタリー」の番組では、流れ作業のような施設介護に嫌気がさした4人の男性が在宅介護に取り組む姿に密着取材。体の動かなかつたお年寄りがどんどん変わって行き、桜の花の下で微笑むシーンは感動的でした。介護の専門家として「(人間らしい暮らしを)何とかしたい」という熱意が加わって人間が変化・発達してゆくことを支える専門性の高い仕事だと思ったとのこと。ヘルパーの援助を高く評価して頂き、嬉しい限りです。

続いて、篠崎さんからは奥さんの職業が「ホームヘルパー」だったことで、夫婦喧嘩が絶えず、(一同大爆笑)「この仕事はいったい何なのだ!」と疑問をもった所から介護との出会いだったとのこと。当時ヘルパーの仕事に「やりがい」を感じていたおくさんは、時給いくらのパートなのに仕事があれば朝でも夜でも訪問に出かけ「やりがい」の塊の様になっていく。しかし、訪問先で掃除機やドアが壊れるとこっそり直したり、訳のわからない状況。実際に報告すると時給が減らされたり、訪問が減らされたりといった状況で、特に「医療行為」に至っては本当はやってはいけない、許されていないことをしながら保障がない???が次々といった具合で、当時は調査屋という仕事柄、労働環境としての「医療行為」の調査をはじめると「こんなことを調べてどうするつもりだ」と職能団体からクレームが出たりと、持ち前の反骨精神がうずく事態となったそうです。

集まってきたアンケートの自由記載にはびっしりの記入があり、こんな労働環境で働かされているのでは、いずれ人は去ってゆくと予測がたったので『ホームヘルパー消滅の危機』を2000年に書いたそうです。「介護保険は「走りながら考える」とよく言われましたが、「走らされていて」考える余裕なんてない状況を目のあたりにして、まず家族を守りたい、ヘルパーを守りたい」と愛のある調査を続けられています。「僕には何も失うものが無いので捨てられても良いから、代弁者として行動しようと思っている」とヘルパーへのラブコールが続き、「主観的(一人、一人の)な考え方もみんなの声が集まれば客観になります」と心強いバックアップの

## 「世界のヘルパーさんと出会う旅」

### パート 9 韓国旅行の(素案)

前回、06年に訪問した韓国は「医療療養保険」導入前夜でした。訪問の中で、儒教の思想が徹底している国という事が、日本で言えば道徳という事でした。国民の三分の一はキリスト教徒、三分の一はプロテスタント教徒、三分の一は無宗教という構成でキリスト教の影響が大きい国だということです。

実際、介護の現場で驚いたことに、医師がボランティアで特養ホームの勤務に当たっている事。私たちの訪問に対応していただいたのもボランティアの医師でした。「ボランティア」の定着が日本の状況と比較できない状況でした。

前回の旅行では「家庭奉仕員」との出会いは具体化されませんでした。20時間(無償のボランティアヘルパー)30時間(有償のボランティアヘルパー)の養成内容等を学ぶ事が出来ました。

今回の訪問は「保険」が実施され1年経過した韓国で働く「療養士」(ホームヘルパー)の養成内容や養成現場、また実際に働いている方との交流と「家庭奉仕員」として活動をされていた方々の中で「事例検討」を続けているメンバーがいらっしゃる事が森山千賀子さんの調査でわかりましたので、このメンバーとの交流。また、前回訪問してお話を聞きました「特養ホーム」の医師の方にお会いして(施設見学も含む)、療養保険についての意見を伺いたいと考えています。

日程 3月25日(木)〜28日(日) もしかして帰宅29日(月)  
費用 6万5千円位 (交通費・宿泊費・通訳費)  
宿 日本で言う「民宿」クラス (オンドル)に泊まります。

参加予定メンバー(11・21現在)

団長 森山 千賀子	木戸 雅子
濱島 淑恵	根橋 圭子
桜井 和代	(山本 満智子)
新井 康夫	事務局 藤原 るか
篠崎 良勝	
福岡 富士子	

計9名\*10名以上になるよう  
呼びかけを広げて下さい。

○ 旅行代理店・・・富士国際から独立した「旅せん・つなぐ」に依頼しています。この代理店は学習旅行等を中心に組んでいる旅行社です。

○ 申込み問い合わせ先

FAXにて3787-3117 藤原宛

午前の部：篠崎先生資料⑥

**霞んでしまった結果**

魅力(やりがい)のある仕事だから、不満はあっても離職・転職はあまり考えない(ようにしている)

魅力(やりがい)のある仕事だけど、不満が解消されず、離職・転職を考えざるを得ない

求職者・労働者から業界への三行半

**国は絶対に謝らない**

■(前略)報道により、介護労働者のマイナスイメージが先行しており、ネガティブなイメージが社会的に植えつけられてしまっている。そのようなネガティブなイメージが介護労働者の仕事に対する不安、不満を助長し、仕事に対する満足度が下がっていると考えられる。

**私から見れば**

■(前略)報道により、介護労働者のプラスイメージだけを先行させ、楽観的なイメージを社会に植えつけてしまった。そのような楽観的なイメージが介護労働者の仕事に対する容易さ、安易さを助長し、仕事に対する専門性を意識する傾向が低下していると考えられる。

利用者目線からの見方はとても重要で、世の中にとっても必要な仕事だと思われ、あまりにも社会的地位が低すぎると、その仕事はキツイ！介護従事者がいなくなれば、介護保険は潰れるのです。

**国は介護労働の実情を把握してる？**

私は2004年にこのように発言をした。今の状況で

ホームヘルパーという職業を新聞から消されてしまう危機

ホームヘルパー自身が職権を握りてしまう危機

To my regret Home-Helpers working in a scene of a care at home in Japan are sometime thought of like...

好評絶版中！ "sacrifices in chess".

午前の部：篠崎先生資料⑦

**sacrifices in chess**

↓

**捨て駒**

高潔(政治家)を有利に展開していくため、相手に取られること(介護職員のモチベーションが下がること)を承知の上で行く。

介護従事者の声を外野の不満と思いませんか？

求職者はやる前から不満を言います。

しかし、介護保険制度が施行されて、10年目に突入しています。

丸9年間も関わっている介護従事者の声は不満ではなく、

介護従事者から介護保険制度を運営する者への忠告であり警告です。

介護従事者がいなくなれば、介護保険は潰れるのです。

**応援とは**

**自分も本気になることである**



あんな工夫  
こんな工夫

おむつ交換や陰洗の実習  
各事業所ではどう取り組んでいますか？

リハビリパンツをつけて過ごしたり、ヘルパーが利用者になったりしていますが、なかなか、ベッドが用意できる事業所は少ないですね。

写真の人形はA事業所が作った、ストッキングにタオルを詰めて作った簡単な人形です。

下半身だけなので、テーブルや机の上でも実習ができて素敵な工夫です。みなさんに紹介したいと思い投稿しました。



自己紹介がありました。

引き続きホームヘルプ労働についてのお考えを伺いました。篠崎さんはパワーポイントを駆使して「介護報酬の行方」を青森と茨城の比較検討という形でご紹介いただきました。

後藤さんからは、新しい形NPOや住民参加型で「皆さんが事業主になる形はないのでしょうか？」と提案いただき、当日参加されている方の中でNPOで事業所を立ち上げた方から経過や現状などの紹介がありました。一番賃金が安いのが責任者で、サービス提供責任者が一番賃金が高い(笑)。でも開設5年ぐらいでやっと生活できるぐらいになってきたところの話でした。

意見交換の中で「公共性の高いこの仕事を個人のレベルで運営することの責任などについて自信が持てないこと。考えたこととして「政府の発表した(平成19年度)のヘルパーの常勤人数17万2千人に対し、措置の時代のように人件費補助方式として各事業所に補助金を下ろせるような施策が作れないかと思ひ、計算をしたところ



17万2千人×25万円×12ヶ月=5千250億円となった。それでも年収300万円と悲しい状況です」との発言があり、後藤さんより「その金額は子ども手当のわずか1割でできる」とのアドバイス頂きました。

午前中の懇談はこんな調子で楽しく終了しました。  
(次号は2月4日発行予定です)

参加者の感想より

- ・ 篠崎先生の話、とにかく楽しかったです。「『介護労働学』の新星!現る」の感!! 現実を分かりやすくスッキリした後味。ファンになってしまいました。福祉理念がしっかりした上にメスの入れ方が竹を割った分析。お話を聴いて疑問を持った時は声に出さないと何も改善されていかないこと。小さな声がとても大切だと思いました。また、是非、今日のような機会があるといいなと思います。今日は、この企画に参加して皆同じ思いだと気づきました。
- ・ 分かりやすく納得!! これからも定期的にやってほしい。少しお金がかかっても良い。
- ・ 今日は色々な知識や技術を改めて勉強できて良かったと思います。明日から少し自身を持ってサービスができそうです。ありがとうございました。
- ・ 今日は午前中へ参加させて頂きました。現場で疑問に思っていたことや知らなかったことがいろいろ聴くことができ、来た意義がありました。ありがとうございました。
- ・ これからの介護にとっても参考になり自分に対しても自信につながりました。他のヘルパーさんの生の意見も聴け、有意義な時間を送れありがとうございました。
- ・ 今回、参加させて頂きありがとうございました。企画された方々ご苦労様でした。午前の部、お二人の先生のお話、大変おもしろく参考になりました。青森の遠い所から本当にありがとうございました。もっと時間がほしかったですね。

午前の部：篠崎先生資料①

高齢者を支える、地域介護ネットワークづくりについて  
～介護労働者が働き続けていくために～

介護従事者はなぜ働くのか。

八戸大学 人間看護学部 篠崎真由

介護従事者はなぜ働くのか。

- 収入のため
- 良い人間関係構築のため
- 仕事を通じて自己実現や自己成長のため (キャリアアップ)
- 成果を上げることが昇進につながるため (組織内キャリア)
- 会社のため (会社が良くなることは自分が良くなることと同じため)

モチベーションがあるから意欲が沸く (内的動機)

モチベーション = 意欲の源

意欲

意欲の源

意欲の源

意欲の源

インセンティブがあるから意欲が沸く (外的動機)

インセンティブ = 意欲に刺激

意欲

意欲の源

意欲の源

意欲の源

意欲の源

どちらも動機づけと言えど...モチベーションとインセンティブ

- モチベーション  
自分の**内面**にアプローチして**内面**から高める
- インセンティブ  
自分の**外面**にアプローチして**外面**から高める

午前の部：篠崎先生資料③

発展させて考えると...

- 動物的欲求=衛生要因  
満足する一定の充足ラインがある
- 人間的欲求=動機づけ要因  
満足する充足ラインはあるが上限はない

欲求充足ラインと介護労働を考える

欲求充足ライン(人間性)

欲求充足ライン(動物性)

欲求充足ライン(人間性)

欲求充足ライン(動物性)

介護従事者は何を求めているのか。

介護従事者の価値理解に関する調査

①八戸地域在宅福祉サービス事業所協議会(介護従事者:109名)

- ②女性 72.5%,男性 27.5%
- ③在宅 15.6%,施設 11.0%,通所 72.5%
- ④平均就労年数 7年6ヶ月
- ⑤平均年齢 38.6歳
- ⑥社員 57.8%,パート 38.5%,兼務型 1.8%,その他 1.9%
- ⑦管理職(ツラガキ) 17.4%,現場スタッフ 82.6%

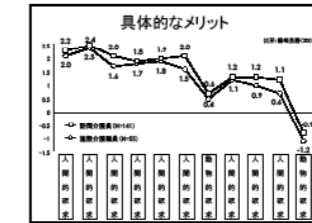
アンケート結果1(総概要)

介護を続けることで得られるもの	介護を辞めたことで得られるもの
動物欲求 18.7%	動物欲求 41.6%
人間欲求 77.9%	人間欲求 7.8%

アンケート結果2(総概要)

介護を続けることで失われるもの	介護を辞めたことで失われるもの
動物欲求 56.8%	動物欲求 30.3%
人間欲求 8.2%	人間欲求 21.1%

午前の部：篠崎先生資料⑤



介護労働に人材が集まらない理由

- 多くの動物的欲求が満たされていない
- 一般論として、動物的欲求さえ満たされていない業界に応募するだろうか...
- 人間的欲求の充足は一部しかない
- 働いている者が、自分が成長した姿が想像できない職場に居続けたいと思うだろうか...

つまり、介護労働は、  
求職者、介護労働者を惹きつける  
魅力が皆無なのではなく、

魅力が露んでしまっているだけ。  
では、なぜ露んでしまっているのか...

誰が露ませているのか...

午前の部：篠崎先生資料②

インセンティブだけでは長期的には無理

目的  
お小遣い → 果たた者の習慣化

加算 → 政策に引き込む(政策誘導)

インセンティブだけでは足りない

モチベーションだけでも長期間は無理

「この前までなんにやる気になっていたのに、どうしたの?」

モチベーションはガラスのように落とすと壊れる

壊れない工夫: 計画性

↓

内的刺激と外的刺激を計画的に織り交ぜる

職務に対する満足要因と不満要因  
ハーズバーグの研究

衛生要因=動物的欲求

不満を感じる要因

作業条件 (物理環境)	給与
方針 (業務方針)	人間関係 (職場内人間関係)

これら改善しても人の満足は向上しない

65

動機づけ要因=人間的欲求

満足を感じる要因

職務内容 (仕事そのもの)	職務の連続性
達成の評価 (仕事の結果)	責任を帯びる成長

これらを得ることで人の満足は向上する

5段階欲求説との対応

5段階欲求	介護労働
5 尊厳欲求	仕事の目的
4 承認欲求	自分の成長・進歩
3 愛欲	親戚から認められる
2 安全欲求	社会的承認・評価
1 生理欲求	職場内の人間関係

人間的欲求 = 動機づけ要因

動物的欲求 = 衛生要因

午前の部：篠崎先生資料④

考察

介護を続けることで得られるもの (動物欲求) 3.4%

介護を辞めたことで得られるもの (動物欲求) 48.6%

介護を続けることで失われるもの (人間欲求) 8.2%

介護を辞めたことで失われるもの (人間欲求) 21.1%

■価値の理解が十分でない

■独自の価値となっていない

■強い価値となっていない

介護労働に魅力がないと考える理由

理由 介護の仕事に魅力を感じていない理由が何よりも下の順番に書かれている

動物欲求

人間欲求

介護労働に魅力がないと考える理由

理由 介護の仕事に魅力を感じていない理由が何よりも下の順番に書かれている

動物欲求

人間欲求

介護労働に魅力がないと考える理由

理由 介護の仕事に魅力を感じていない理由が何よりも下の順番に書かれている

動物欲求

人間欲求

介護労働に魅力がないと考える理由

理由 介護の仕事に魅力を感じていない理由が何よりも下の順番に書かれている

動物欲求

人間欲求

介護労働に魅力がないと考える理由

理由 介護の仕事に魅力を感じていない理由が何よりも下の順番に書かれている

動物欲求

人間欲求

